



左から地域林政アドバイザーの中嶋さん、瀬戸宇治さん、甲津原自治会長の林さん

地域林政アドバイザー

山を守る人たち

森林を守るために

現在、市内には所有者や境界が不明確な森林が数多く存在し、林業の担い手も不足するなど、厳しい状況が続いています。

また、市内に多いスギ・ヒノキなどの価格低迷により、森林の手入れ不足に伴った山崩れの危険性が高まっています。

そのため市では、国が導入した森林環境譲与税を活用し、令和4年4月1日から2人の地域林政アドバイザーを雇用し、モデル地域として甲津原から森林を守る取り組みを始めました。

※国民一人一人が森林を支えていく仕組みとして、国が間伐などを実施する市町村等に対して導入したもので、令和6年度からは森林環境税として一人あたり年間十円が徴収される。

地域林政アドバイザー

平成29年度に創設された「地域林政アドバイザー制度」では、森林・林業に関する知識や経験を有する人を雇用し、市町村の森林・林業行政の体制支援を図ることを目的とし

ています。

今回、制度を活用し、雇用された地域林政アドバイザーは、長年滋賀県の職員として林務に従事していたため、専門的な知識や技術を持っています。

令和4年10月には、甲津原での森林整備について説明会が開かれ、11月には山の所有者や市の職員とともに境界の確認が行われました。



Topic

自治会長に インタビュー



甲津原自治会長 林 清美さん

山林の管理をするために山へ入る機会が少なくなり、手入れが行き届かなくなってきました。これからは、地域林政アドバイザーの皆さんと協力して、管理を行っていかねばと思っています。

米原市役所
YouTubeチャンネル



地域林政アドバイザーを紹介



地域林政アドバイザー
せとうじ しょういち
瀬戸宇治 章一さん

大切にしていること

他県の出身で、滋賀県の職員として働いていましたが、今はアドバイザーとして地元の人とのつながりや関係を大切に取り組んでいます。

今後の目標

今後は、平成31年にできた森林経営管理制度に基づいて、手入れの行き届いていない森林を、適切に整備をしたり、不明確な森林境界の明確化を行ったりと、所有者と協議しながら取り組んでいきたいと思っています。

森林境界の確認方法



①登記簿と図面を
突き合わせ確認



②所有者らと現場を
歩き地形などを確認



③境界杭を打つ



④印を括りつける



地域林政アドバイザー
なかじま ひであき
中嶋 英明さん

大変だったこと

今まで山の所有者と直接関わることがなかったため、最初は関わり方などに試行錯誤しました。本来、山の所有者自らで手入れをしてもらうことが理想ですが、山村の過疎化や、高齢化が原因で、管理ができません。そのため、私たちアドバイザーが働きかけることで綺麗にしていければと思っています。

今後の目標

甲津原をモデル地域として取り組む中で、良かった点や改善すべき点などを検証しながら、森林整備全体を米原市で広げていきたいと思っています。